

会 議 録

| | | |
|---|--|------------------------------|
| 会議の名称 | 平成22年度第3回健康づくり推進協議会 | |
| 開催日時 | 平成22年12月16日(木) 午後1時30分～午後3時30分 | |
| 開催場所 | 清須市役所 本庁舎 大会議室 | |
| 議題 | 1 開会 ・あいさつ ・計画骨子(案)策定について ・その他 | |
| 会議資料 | 会議次第 資料1 「健康日本21清須計画(仮称)」計画骨子案 参考資料 1 団体ヒアリング調査結果について | |
| 公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由) | 公開 | |
| 傍聴人の数 (公開した場合) | 0人 | |
| 出席委員 | 加藤委員、深尾委員、山口委員、小川(禎)委員、太田委員、川島委員、山内委員、関委員、小川(久)委員、渡邊(靖)委員、村上委員、福島委員、奥山委員、伊藤(千)委員、木村委員(師勝保健所健康支援課 石原課長補佐代理出席) | |
| 欠席委員 | | |
| 出席者 | (市) | |
| | (助言者) (他) | 岡本 (株)サーベイリサーチセンター(山村、宮本) |
| 事務局 | 大鐘部長〔健康推進課〕成田課長、田中主幹、森川課長補佐、武居副主幹、古川主任主査〔高齢福祉課〕寺社下係長 | |
| 会議の経過 《要旨》 1 成田課長あいさつ 深尾会長 あいさつ 議事進行につきまして、皆様方のご協力をよろしく申し上げます。 議事に入る前に、本日の会議録署名委員に関委員と山口委員を指名いたします。 本日は、「健康計画骨子(案)」と「団体ヒアリング」について事務局からの説明を受けた後、委員の皆さんにご意見を申し上げます。 2 計画骨子(案)策定について 深尾会長 計画骨子(案)と「団体ヒアリングの調査結果」について、事務局より説明をお願い | | |

します。

深尾会長 資料1の3、計画の体系にある「基本目標」、「重点課題」の枠組みについて委員の皆様、事務局(案)で進めてよろしいでしょうか。

委員・助言者より、了承の意あり。

深尾会長 重点課題の項目毎に、事務局より要点を説明後、健康への取り組み指針について、委員の皆様に「いかに健康なまちづくりをするか」、又は「いかに健康課題を解決するか」に限定してご意見をお願いします。

—基本目標Ⅰ「健康な生活習慣の確立について」—

○重点課題1「健康な食生活の推進」について

伊藤委員 食生活改善のための食生活改善推進員としての活動は行政とともに長く続けていくことで地域に浸透していきます。

川島委員 学校でも食育の事業が開催されています。今後、親子で参加できるものがあれば良いと思います。

山内委員 若い人は忙しくて食事をする時間の無い人が多い状況です。短時間で食事がバランスよくとれるような具体的で取り組みやすい方法があると良いと思います。

村上委員 新入社員には「朝食をとる」「バランスよく食べる」ことを重視した指導をしています。食事はカロリーを含めてバランス良く摂るような指導で良いでしょうか？

石原委員 運動量や体重によって必要な摂取カロリーは変わります。各自が必要なカロリーを知ることが大切でです。この計画は「食育推進計画」と連動して推進するのですか？

事務局 食育の担当課とも協議しながら進めていく予定をしています。

小川(禎)委員 教育委員会では子どもの欠食率を把握していますか？

事務局 教育委員会では小学5年生と中学2年生で調査しています。平成19年度では全く朝食を食べない小学5年生は1.3%、中学2年生は1.6%。愛知県ではそれが2.9%と6.1%なので、愛知県よりは低い数値となっています。

小川(禎)委員 できれば朝食を親が食べない家庭での子どもの欠食率も計画に入れると良いと思います。

○重点課題2「健康な運動習慣の推進」について

小川(久)委員 新たに75歳以上の健康づくりのための運動教室を始めました。健康づくりリーダーの養成のためにも新たな教室は必要です。

奥山委員 セラバンドの教室を地区で実施しています。参加者が固定しているので新たな参加者の掘り起こしが必要です。

小川(久)委員 身近な場所なら参加できる人もいます。今後出前講座のようなものが増えると良いと思います。

福島委員 地域の行事で新たな参加者を増やす工夫をしていますが上手くいきません。長い時間をかけてやっていくしかないでしょうか？

山内委員 いろいろな団体から個人に声がかかれば、人とのつながりや興味があるものが見つかるので、新たな参加者が増えるのではないのでしょうか。

○重点課題3「こころの健康づくりの推進」について

村上委員 企業ではメンタルヘルスを検討しています。気軽に相談できることが大事で必要ならば早めに専門医につなげることも大切だと思います。

関委員 小規模事業者は不況でストレスがたまっていて沈みがちです。

石原委員 気軽に相談できる場所が身近にあることをPRする必要があります。周りの人が心の健康に理解するための啓発が大切です。

岡本助言者 身近なスーパーや薬局などで心の不安定な状態があればすぐに相談でき、そこから専門機関を紹介してもらうなどの環境づくりが必要です。関心を持ってもらうためには「うつ」よりも「こころの落ち込みに関心を持ち、理解しよう」に変えたらどうでしょうか。

○重点課題4「禁煙の推進と受動喫煙の防止」について

太田委員 寿会では吸う人が多い。70歳を過ぎるとなかなかやめられないようです。

村上委員 たばこの本数で許容本数はありますか？

加藤委員 WHOではたばこ1本吸うたびに寿命が縮まると警告しています。お酒と違って適量というのはありません。喫煙は個人の自由なので規制はできないところが難しい状況です。

関委員 体に病気が出るとたばこは止められるがそこまでいかないと止められません。

渡邊委員 妊婦の場合は喫煙を止めるように強化して指導してほしいと思います。

奥山委員 1地区の中学1年生を対象に「食育」でたばこについて講話する予定をしています。

村上委員 高校生になると吸いたくなるので高校で教えてはどうでしょうか？

奥山委員 ニコチン依存症になる前に教えていきたいので、小学校4～5年生を対象にできると良いと思います。

山口委員 薬剤師会の会員は禁煙用のガムができてから全員禁煙しました。かかりつけ薬局として相談にいつでも応じることができるので利用してほしいと思います。

加藤委員 たばこの値上げにより禁煙希望者が増えています。禁煙に結びつくのは値上げや禁煙仲間などの外的要因が大きい。「セルフチェックシート」でたばこやメンタルヘルスなどについて「気づき」を促せるようなものと良いと思います。

村上委員 当社の喫煙率47.8%だが、たばこの値上げをきっかけに禁煙希望者が増えています。最近、禁煙希望者に対して積極的に支援することを始めました。

岡本助言者 産業医の立場からは「分煙」という環境が大切だと考えています。工場内の喫煙所を遠くて狭い場所に設定すると面倒なため禁煙できてしまう人が半数位あります。

福島委員 市役所は喫煙所があるが、検討が必要です。たばこの税収が減ると市も困るのではないですか？

事務局 市役所でも分煙をしており喫煙場所が決められています。たばこからの税収は大きいですが健康に対する害も大きい状況です。

山内委員 たばこをやめるとストレスがたまっかえってよくないのではないですか？

加藤委員 個人の嗜好で始めたものを止めるために公費を投じている。国の施策は医療費の面からみえています。禁煙に公的資金を投じたほうがそれに見合う医療費が減るという考え方でこれは特定健診と同じです。ストレスには別な施策が必要だと思います。飲酒には良い面もあるが喫煙には良い面は無い状況です。

○重点課題5「過度な飲酒の防止」について

太田委員 寿会での高齢者については若いころに比べ飲酒量はかなり減っています。

渡邊委員 妊婦の飲酒についてはぜひとも止めていただきたいと思います。

加藤委員 適量なら酒は百薬の長だが、妊婦には危険だ。喫煙と同じでその危険性と意義について繰り返し伝えることが大切です。

岡本助言者 妊婦になる前の若年女性の喫煙や飲酒の啓発が大事です。

小川(禎)委員 未成年者の飲酒は法的に決められています。改めて記載する必要がありますか？

山内委員 祖父などの親戚が未成年者に飲酒を勧めることもある。指針に未成年者の飲酒の害をあげておいた方が良いと思います。

村上委員 飲酒の害については、わかりきっているが重要です。この指針で良いと思います。

○重点課題6「歯と口腔の健康づくり」について

石原委員 子どもへの取り組みはないですか？どの年齢にも該当する指針でしょうか？

深尾会長 親に働きかけることが子どもへの対策になります。虫歯は減少し最低限になりました。今後は不正咬合対策が課題です。噛むことと食生活の指導が必要です。若い世代では歯周病が原因で健全な歯が抜ける人が多いので歯周病予防が急務です。

○重点課題7「感染症の推進」について

石原委員 感染症予防では「正しい知識」「正しい情報の提供」が大切です。

○重点課題8「介護予防の推進」について

太田委員 要介護にならないようにするにはどうすればいいのでしょうか？

岡本助言者 足腰を鍛えるには歩くのが一番です。転倒を防げれば大丈夫だと思います。

太田委員 60歳代まではよく歩いていましたが、足が衰えてきています。

岡本助言者 歩きすぎるのも筋肉に負担がかかるので毎日5～10分歩くと良いと思います。

太田委員 70歳を過ぎたら趣味があると良いと思います。

加藤委員 高齢者にとって歩くことは元気に暮らせる期間が延びることにつながります。

太田委員 朝起きて今日も生きておられたと思う高齢者も多いです。

一基本目標Ⅱ「地域保健活動の推進」一

○重点課題1「地域ネットワークづくりの推進について」

深尾会長 ワークショップでも情報の共有や仲間づくり、他のグループとの交流などの活発な意見がでており、いかに「つながりを深めていくか」考えていきたいと思います。ご意見をご発言ください。

小川(禎)委員 107の町内会・自治会が38ブロックに編成されます。地域福祉の関係からも、グループや団体をつくってもらえるように社会福祉協議会から呼びかけようと思っています。

村上委員 企業では地域の子どものと一緒に植樹をしています。森づくり活動のねらいは環境への配慮と子どもの体力づくりを兼ねています。地域と職域のコミュニケーションが必要です。

福島委員 モデル地区として地元で活動し成果を挙げています。社会福祉協議会の活動は行政と重複することはないでしょうか？

小川(禎)委員 社会福祉協議会では行政のように均等な働きかけはしていません。主体的に活動できていない地区を対象に手助けが必要かどうかお伺いを立てています。

川島委員 子ども達は忙しいので学校以外でつながりをつくるのは難しくなっています。

村上委員 今は少子化で地区での活動ができないところもあると聞きますが、今後の方針は？

川島委員 子ども会だけでは取り組めないこともあるので地区に協力してもらっています。

一基本目標Ⅲ「早期発見・早期治療の推進」一

○重点課題1「健康診査の受診促進と結果の活用について」

深尾会長 委員の皆様、ご意見をご発言ください。

山内委員 子宮頸がんの予防接種を小学校卒業後に無料で受けられると良いと思います。

事務局 市の財政状況に応じ来年度実施に向け検討中です。予防接種で完全に予防できるわけではないので20歳すぎたら子宮がん検診を受けてください。

村上委員 がん検診の受付は清洲庁舎ですか？清洲庁舎まで巡回バスを利用し受けに来るようになられた人がいます。

事務局 保健事業は清洲庁舎ではなく各地区で受付・実施をしています。来所できない方のために電話受付も実施しています。

伊藤委員 生活習慣病には食習慣が大切で、子どもの頃からの取り組みが必要です。

関委員 小規模事業者は不規則な生活なため未受診になりやすい。前立腺がんの受診を勧奨していただきたい。

加藤委員 生活習慣病も運動も喫煙も「気づく」ことから始まります。健康診査や事後指導で医師や保健師などを利用していただきたい。市民の行政に対する評価は健診率に現われます。

○重点課題2「早期治療の推進」について

深尾会長 他市の歯科健診データから50代に受診率が下がり10年後に歯を喪失することがわかっています。データを示しそれに基づいた対策が必要だと思います。

深尾会長 意見交換を終了し、最後に岡本先生に本日の講評とまとめをお願いします。

岡本助言者 市民にとって身近な計画になるように年代に応じて何を実施すればよいのか明示すると良いと思います。食行動ではたとえば「インスタントより手作りを」などイメージできるようなキャッチフレーズを入れると理解しやすく馴染みやすいと思います。

深尾会長 この機会に他に何か発言したい方は？

小川(禎)委員 今月の広報に「清須食育レポート」が出ているが担当はどこの課ですか？

事務局 市の食育に関する担当は産業課です。

奥山委員 広報は前月の末日までに配布していただきたい。

深尾会長 皆様のご協力により会議を円滑に進めることができました。

事務局 大変貴重なご意見、ご要望ありがとうございました。

3 その他

- ・次回1月13日に開催

以上

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名します。

署名委員

関 幹 雄 ㊟

伊 藤 千 里 ㊟

| | |
|--------|------------------------------------|
| 会議の結果 | 審議に関する事項はなし |
| 問い合わせ先 | 健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線4056 |

